

院内感染対策 院内での外来診察の工夫

有症状者や陽性者の外来診療における工夫点を記載しています。
各施設の状況に応じてご活用ください。

- 有症状時は、車内で待機してもらう。
- 施設内は不織布マスクの着用を必須とする。
- 診察時は、動線を分け、使用していない部屋があれば活用する。
- 人が混み合う場所には二酸化炭素濃度計を配置して、換気を目安としていく。
- 診察や検査でゾーニング出来ない場合は、来院時間を工夫し、時間隔離を行う。例えば、診療時間終了間際に来院し、限られたスタッフで対応する。
- 点滴治療が必要な場合、外来患者が少ない時間帯に来院してもらう。
外来の処置室がゾーニング困難な場合は、空いている病室を活用する。
- 空気清浄機を活用する場合は、できるだけ患者の側に置く。（定期的な清掃を心がけましょう。）

